

令和6年度 第1回 学校運営協議会議事録

日時 令和6年6月21日(金) 15:30~16:45

場所 本校同窓会館

参加者	委員	東崎 康嘉	近畿大学 理工学部 教授
		根井 加奈美	東大阪市立小阪中学校 校長
		川野 充信	八尾商工会議所 事務局次長
		増本 哲男	東大阪商工会議所 常務理事 事務局長
		正木 猛司	同窓会長 正木建設株式会社 代表取締役会長
		東谷 美嘉子	令和6年度 PTA 会長
事務局		川崎 哲也	教 頭
		加藤 孝	事務長
		佐伯 陽介	首 席
		千田 充弘	首 席
		小池 清隆	首 席 兼 1学年主任
		笹山 秀樹	機械系長
		杉本 岳久	電気系長
		渡邊 千佳	建築設備系長
		芦田 和光	教務部主任
		近藤 智也	教務部 ICT 主担
		前田 卓哉	教務部 PTA 顧問
		藪田 大輝	生徒支援部主任 生徒指導主事
		渡邊 里子	生徒支援部 保健指導主事
		小島 大亮	生徒支援部 生徒会
		河内 康朗	進路指導部 進路指導主事
		西村 康平	3学年主任
		西本 貴博	2学年主任

◆1 校長挨拶

◆4-1) 学校経営計画についての説明

1 確かな学力と社会に向かう力を育成する学校

- ・教科・学科(系)において観点別評価にあわせた授業内容改善の取り組みを行う。
- ・保護者及び教員を対象とした公開授業期間を年2回設定し実施する。
- ・1学年で実施している基礎学力調査の分析結果に基づいた生徒個別の学習指導を行う。
- ・地域産業との連携を強化し、デュアルシステムを実施する。
- ・企業連携による出前授業や企業経営者による講演会を実施する。
- ・資格・検定への挑戦を促し、各種コンテスト等への参加も推進する。

- 2 生徒一人ひとりを尊重し人間性豊かなエンジニアを育成する学校
- ・生徒との信頼関係に基づいた生活指導に努める。
 - ・学校での生徒の居場所づくりを推進し、SC、SSW と連携しながら課題の早期発見に努める。
 - ・生徒会活動を支援し、生徒全員が主体的・自律的な活動ができるようにする。
また、部活動への参加推進にも努める。
- 3, 安心安全で魅力ある学校
- ・安全安心な高校生活のためのアンケートを実施するとともに、支援人権相談会議を定期的に開催し、生徒の状況把握、情報共有を図る。
 - ・地域のショッピングモールとの連携事業、大和ハウス工業との連携事業を推進する。
 - ・働き方改革を推進し、校務運営の効率化を図る。

◆ 4 - 2) 教科書選定

6月13日 第1回選定委員会

6月28日 第2回目選定委員会で決定

◆ 4 - 3) 各セクションからの報告を実施。

◆ 【質疑応答・ご助言】

- ・勉強の為の勉強でなく、生徒がインターンシップに参加しての振り返りで、学校で学ぶことが社会で必要と気づかせるような働きかけを連携企業に提案してやっていただけたらと思います。
- ・生徒ひとりひとりの居場所作りや声掛けは大切です。
- ・企業からの出前授業の参加は、2年生以降が適正だと思います。生徒が主体的に係わり、達成感を感じる工夫も必要です。
- ・コロナ前は、保護者の企業見学もあったので、今後実施に向けて検討してほしい
- ・資格取得の重要性については、学生時代にはわかりにくい面があるが、チャレンジさせてほしい
- ・資格取得の応募やショッピングモールでのイベント開催などについては、クラッシーを通じて保護者へも連絡をしてほしい。
- ・城東工科との統合に向けても、PTAとして協力していきたい。